

災害時に必要な多様性の 視点と配慮を身につける

女性防災リーダー養成講座

定住人口の増加が続く中央区は、来街者も多く、多様な人々が行き交い、住むまちとなっています。

災害はいつどこで起きるか分かりません。発災時に避難する場所は、学校や公共施設等開設される防災拠点、帰宅困難者の受け入れ先となる事業所などさまざまありますが、被災時にいたその場所が“避難所”になることも考えられます。

どのような場所に避難したとしても、性別や年齢、障がいの有無、国籍などにかかわらず、すべての被災者の人権が守られるよう、私たち一人一人が多様なニーズに対応できる力を身に付けることが大切です。

この講座では、“避難所”運営で、さまざまな人々のニーズに柔軟に対応し、被災者の安全・安心に貢献できる女性を養成します。講義やワークショップを通じて、多様な視点に配慮した支援の基本を学び、“避難所”運営での具体的な生かし方を修得します。

6月22日(土) 7月6日(土) 7月20日(土)

8月3日(土) 8月24日(土)

各回 10:00~12:00 (全5回 原則全回参加をお願いします)

会場：協働ステーション中央 会議室
東京都中央区日本橋小伝馬町5-1 十思スクエア2階



各回の詳細は裏面へ

対象

中央区 在住・在勤・在学の方で
防災の取り組みや
防災力の向上に関心のある女性

参加費
無料

定員
30名
先着順

一時保育無料
1歳以上の未就学児
定員5名 先着順

お申し込み(お問い合わせ)はこちらから

1. 申し込みフォーム

2. 電話

090-2907-2293

流山防災まちづくりプロジェクト事務局

受付時間：9:00~17:00

3. メール

2019nbmp@gmail.com

流山防災まちづくりプロジェクト事務局

申し込み期間

5月21日(火)から6月16日(日)まで

電話・メールの場合は、以下の内容をお知らせください。

①氏名・ふりがな

②年代

③中央区在住・在勤・在学・その他の別

④ご所属(会社名・団体名・学校名などがあれば)

⑤連絡先電話番号

⑥メールアドレス

⑦保育希望の有無(ありの場合、お子様の年齢・人数)

⑧参加動機

申し込みフォーム



二次元コードを読み込み
必要事項をご入力ください

各回の内容と講師紹介

第1回

6月22日(土)
10:00～12:00

身の回りの防災・減災対策を知る

- 養成講座についての紹介
- 講演者についての紹介
- 区の防災計画について



中央区総務部防災危機管理課
流山防災まちづくりプロジェクト 代表
矢口 輝美

「流山防災まちづくりプロジェクト」の代表として、女性防災リーダー養成講座を実施、「命と暮らしを守る避難所運営ハンドブック」策定後、自治会や地区社会福祉協議会、中学校等で多様に配慮し、男女共同参画の視点を大切にした避難所開設訓練を行っている。

第2回

7月6日(土)
10:00～12:00

東日本大震災の事例から、避難所における女性リーダーの役割を考える

- 東日本大震災の避難所で被災者はどのような困難を抱えたのか？
- その困難を解決するための対策
- 女性防災リーダーたちの歩み・活動から学ぶ



NPO法人イコールネット仙台 常務理事
宗片 恵美子

東日本大震災発生以降、避難所・仮設住宅における支援活動・調査活動に取り組み、女性防災リーダーの育成に注力する。その後、避難所に関するワークショップ等、地域防災力向上に向けた各種講座を継続的に実施。

第3回

7月20日(土)
10:00～12:00

能登半島地震の事例から、日頃から意識すべき視点を身につける

- 能登半島地震の避難所で見えたもの（東日本大震災から変わらなかったもの）
- 災害関連死ゼロのために必要なこと
- 日常における男女共同参画の視点



(一社)男女共同参画地域みらいねっと 代表理事
小山内 世喜子

東日本大震災以降「防災と男女共同参画」をテーマに防災人材育成研修やジェンダー視点を取り入れた防災教育、避難所運営訓練を市民・若年層・行政職員などのべ25,000人以上を対象に全国で実施。参加者の主体性を尊重した「誰一人取り残さない」地域づくりに貢献。

第4回

8月3日(土)
10:00～12:00

避難所における多様な方への配慮を身につけ、体験する

- 避難所のレイアウトや、受付・誘導での具体的な配慮・動きについて学ぶ
- 「避難所運営ゲーム」(ロールプレイ)



第5回

8月24日(土)
10:00～12:00

地域防災のための これからのアクションプランを考える

- 自分の住む地域の防災課題・関わり方を考える
- 今後に向けたアクションプラン発表



受講後のゴール

- 男女共同参画と多様性の視点を持ち、防災・災害の全体像の理解や避難所運営などの知識を習得する
- 被災時に立ち上げた拠点の運営などで主体的に取り組むための知識を習得する
- 講座終了後、多様な視点を持って地域での活動へ一歩踏み出す

